

令和2年7月29日 第4号 (No.418)

二小だより

ニセコ町立ニセコ小学校 TEL44-2252

教育目標

羊蹄の大地に 豊かな心で

たくましく未来を拓く ニセコの子

○つよく

○なかよく

○かしこく

目標をもった夏休みに

校長 増川佳子

1年生の朝は、朝顔の水やりから始まります。3年生の中には、理科で学習したモンシロチョウの卵やら幼虫・さなぎが入った容器を大事そうに持って登校する子がいます。朝の会前に学級園の草取りをする子もいます。自然と触れ合う生活の中で、子どもたちは“生物は絶えず姿を変え、成長し、大人になっていくこと”に気付いていきます。

縄跳び検定”の審査員として、職員室にいる先生方が2年生の体育に呼ばれることがあります。“両足跳び”“片足跳び”“後ろ跳び”…、様々な跳び方から自分で1種目選び、回数を自己申告して挑戦します。大きな動作で危なっかしく跳んでいた子が、先日、自分でもビックリするほどの回数をクリアしました。1時間に1回きりの、失敗できない挑戦です。諦めずに何回も練習して、縄跳びの“技術”だけでなく、“集中できる強い心”も身に付けてくれたようです。

私が担当している書写（毛筆）の授業でも嬉しい出来事がありました。後片付けで筆を洗う時に、どうしても床に墨の汚れが点々と落ちてしまいます。気付いた時に、「拭いておくんだよ」と声をかけることが多いのですが、先日の4年生の授業では、自分の後片付けが早く終わった子たちが誰に言われることなく、進んで床を拭いてくれました。片付けが進まず「誰か手伝って!」とSOSを出した仲間ですっと反応できる関係も見られました。よい学級づくりが進んでいます。

コロナ禍という、“いつも”と違う生活を強いられた子どもたちでしたが、この4か月で体も心も大きく成長しました。どの学級でも“話をしっかり聴ける”ようになってきました。姿勢よく集中して授業に取り組む姿も増えました。

遠足や運動会などの行事はできなかったのですが、日常の学校生活を通して、相手のことを考えて思いやり、友だちとの関わりなどについて学んだりしながら、どの子も心身とも明るくたくましく成長してきたことを本当に嬉しく思います。

夏休みの始まりです。普段学校にいる分の時間を自由に使えます。その時間を子ども自身の意志で有効に使ってほしいと願っています。そのためには、“自分で決めた目標”が必要です。『漢字が苦手なので今まで習った漢字を全部書けるようにする』という“苦手なことを克服する”目標、『得意なサッカーを誰よりも上手になる』という“得意なことを伸ばす”目標、『夏休み中に10冊以上本を読む』という“大好きなことに没頭する”目標、“初めてのことに挑戦する”目標…等々、何か一つでいいので夏休みならではの目標を決めてみることをお勧めします。

どこの学校でも工作や絵や調べ物が多く並ぶ夏休み作品展ですが、自分の目標に向けて夏休みにどう努力し、何を考えたかがわかる“夏休み挑戦記録”のような自由研究がないかなあと、ちょっぴり期待しています。

あっという間の4か月でした。この間の子ども達の頑張りや保護者の皆様のご協力に感謝しております。

ニセコ小学校の全児童そしてご家族の皆様が、事故なく有意義な夏休みを過ごされますよう願っております。そして、夏休み明けにはたくさんの思い出話と元気な笑顔に再会できることを先生方全員で、楽しみに待っています。

外

国語の授業は国際色豊かです。国際都市「ニセコ」では、外国語教育にも力を入れています。英語専科の佐藤兼祐先生、ALTのベンジャミン先生、6年生の担任の北川先生も英語の先生ですし、5年生担任の本多先生は日本人学校に行っていた経験もあります。隣にはインターナショナルスクールがあり、年に数回交流をしています。(今年は今のところ未定ですが…)

さらにニセコ町では、4名の国際交流員の方が常に来てくださって、ニーズに応じて学習に参加して下さいます。ネイティブな外国語や、それぞれの国ならではの文化の話聞きながら、外国語に慣れ親しむことができることはとても素晴らしいことだと思います。この授業は6年生が、ツアーコンダクターと旅行を探すお客さんとに分かれ、旅行プランを英語で提案する授業です。コンダクターは、2種類のプランからお客さんに一つ選択してもらいます。国際交流員の皆さんやALTのベンジャミン先生もお客として参加して下さったり、自分の国の文化を紹介して下さったりしました。ニセコ小学校の子どもたちが、国際都市ニセコから、世界に羽ばたくグローバルな人材となり、世界で活躍をしたり、逆に日本固有の文化を大切にしながら活躍することを夢見ています。そのために、ニセコ小の先生方は、様々な教育活動を工夫してがんばっています。



暑

い夏です。特に今年はマスクをなかなか外せない夏です。感染も熱中症も両方心配です。そんな学校の困り感にニセコ町は、素敵なおプレゼントをしてくださいました。

各教室にプラズマクラスター扇風機を2台ずつ。また、熱中症気味になったときに、涼しい場所で休めるようにと、保健室に冷房機を一台導入していただきました。我々世代(昭和世代です。)の学校のイメージには扇風機も冷房機も浮かびません。でも、うだるような暑さの時に、風が顔に当たる心地よさを提供できることや、暑さで体調が悪くなった人のために、休める場所があることは、私たち教職員にとっても安心感をあたえてくださいます。



参

観週間には、多くの皆様に足をお運びいただきました。様々な制約の中ではありますが、子どもたちの元気な姿、明るい笑顔が見られたことと思います。また、各担任の先生方の授業の様子や工夫など、ようやく観ていただくことができました。保護者の皆様の子どもたちを見つめるあたたかいまなざしも感じることで大変有意義な時間となりました。

全

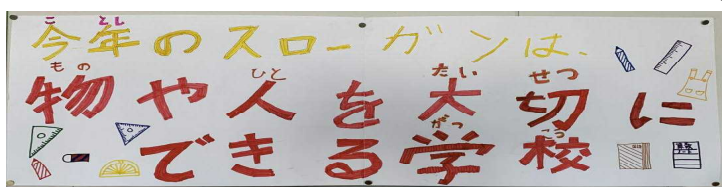
体懇談会へ多くの皆様のご参加をいただきました。私たちも、今年度が始まって3ヶ月半が経過し、ようやく保護者の皆様にお会いすることができ大変うれしく思います。また、学校側、PTA側の話にも熱心に耳を傾け、うなずきながら聞いてくださる姿に保護者の皆様の教育への意識の高さを感じることができました。後半行われた学年懇談会でも大変和やかに過ごしていただきました。PTAの学年委員を決める際も大変協力的に決めていただけたと聞いております。元気で明るい子どもたちと、子どもたち想いで優しく、協力的な保護者の皆様との毎日がようやく始まることを実感しました。本当にありがとうございました。



児

童会が中心となって決めたスローガンが玄関前に、大きく掲示されました。実にいいスローガンだと思います。そして、そのスローガンを達成しようとするかのように、校内をびかびかにしようとする清掃時間の姿があります。落とし物を「誰のですか?」と落とし主を探る姿もあります。おうちの人に買ってもらったメモを片手にいろいろ調べる姿もあります。

泣いている友達に寄り添って、声をかけたり一緒に悲しそうな表情をしている姿も見られます。下級生の面倒を見る姿や上級生のまねをしようとする姿もあります。けんかをしてしまったあとに、ちょっぴり恥ずかしそうに「ごめんね」を伝え合う姿だってあります。全部全部このスローガンに向けた姿だなぁと思います。前期の児童会は期間が短いのです。限られた時間や制約の中で知恵を振り絞り、「できることをできる限りそして価値ある活動」を探し続ける姿勢が、すでに「物・人」を大切にできる姿なのだと感じます。



☆7月30日(木)～8月16日(日)まで夏休みとなります。コロナウイルスによる影響で、例年より短い夏休みとなりますが、事故にはくれぐれもお気をつけて、お過ごしくださいね。

☆8月12日(水)～8月14日(金)の3日間は、「学校閉庁日」となり、教職員が不在となります。保護者の皆様をはじめ、町民の皆様のご理解とご協力をお願いします。